

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業	評価者	環境政策課長	佐藤 雅也
環境-02 環境基本計画推進事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	環境政策課
	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針
			次代に向けたエネルギー・環境対策の推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	鎌倉市環境基本条例の3つの理念に基づき、鎌倉市環境基本計画を推進するため。
効果	環境共生都市の創造に向けた具体的な目標達成のために、市民・事業者・滞在者・行政が環境に関心を持ち、環境に対する責任と役割を理解し、環境保全活動に自ら取り組み、その活動を広げ、社会全体に定着させる。

2 平成27年度に実施した事業の概要

「鎌倉市環境基本計画」を推進するため、鎌倉市環境審議会において、各施策の進捗状況に関する点検・評価を行い、計画に対する進行管理を図った。国の施策の動向等を注視しながら、「鎌倉市地球温暖化対策地域推進計画」等の見直しを図った。地域における地球温暖化対策をはじめとする環境保全施策を推進するため、環境マネジメントシステムや環境教育の推進、緑のカーテン設置、雨水貯留槽設置費助成など環境保全行動の普及・啓発を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備考
人口等のデータ	人口	177,464人	人口	176,869人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	80,368世帯	世帯数	80,928世帯	
	事業の対象者数		事業の対象者数		
運営資源状況	決算値(千円)	4,922	6,417	当初予算(千円)	7,212
	国県支出金			国県支出金	
	地方債			地方債	
	その他	1,373	1,633	その他	2,030
	一般財源	3,549	4,784	一般財源	5,182
	人員配置数	2.5	2.5	人員配置数	2.3
事業運営	人件費(千円)	18,872	19,046	人件費(千円)	17,722
	総事業費(千円)	23,794	25,463	総事業費(千円)	24,934
	市民1人当りの経費(円)	134	144	市民1人当りの経費(円)	141
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	1. 統合できる
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	9. 実施が義務付けられており(法廷受託事務等)、ニーズに応じて実施する事業ではない
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない
	今後も市が実施すべき事業か	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、成果を計ることはなじまない
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している 協働実施済の場合のパートナー NPO法人山崎・谷戸の会等

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す →	見直しの種類	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	エネルギー計画推進事業を本事業に統合し、拡大する。
	<input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →				事業へ統合
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	エネルギー計画推進事業予算を合算する。		
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	二酸化炭素排出量の削減はもとより、地球温暖化への適応や持続可能な発展といった更に一步踏み込んだ施策の展開が求められており、この現状を踏まえて改定した「鎌倉市環境基本計画」及び「鎌倉市地球温暖化対策地域実行計画」、「鎌倉市環境教育行動計画」の着実な推進に努める。
-------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

平成27年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	「鎌倉市環境基本計画」及び「鎌倉市地球温暖化対策地域推進計画」、「鎌倉市環境教育推進計画」の改定を27年度中に行う。本市環境マネジメントについては、新たな手法を定着させる。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	「鎌倉市環境基本計画」及び「鎌倉市地球温暖化対策地域推進計画」、「鎌倉市環境教育推進計画」の改定を鎌倉市環境審議会委員の意見や指導を受けるなどしながら行った。「鎌倉市地球温暖化対策地域推進計画」、「鎌倉市環境教育推進計画」については、各根拠法の改正を受けて、「鎌倉市地球温暖化対策地域実行計画」、「鎌倉市環境教育行動計画」に名称を変更した。本市環境マネジメントについては、新たな手法の定着を図った。	<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	平成28年3月に改定した「鎌倉市環境基本計画」及び「鎌倉市地球温暖化対策地域実行計画」、「鎌倉市環境教育行動計画」をより実効性のあるものにするため、実施状況を評価し、施策の推進に反映できるような進行管理についての検討を行う。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項										
団体名	鎌倉市									
他市実績										
比較事項										
団体名	鎌倉市									
他市実績										
比較事項										
団体名	鎌倉市									
他市実績										
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方										

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	市役所における紙類・文具類調達に対するグリーン適合品調達率						単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
本市環境マネジメントにおいて、職員がグリーン適合品を意識することは重要であるため	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0				
	実績値	94.4	99.0								
	達成率	94.4%	99.0%								
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方											

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input checked="" type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--------------------------------------------	------------------------------------------------------------